

★ 写真でよみがえる甲子園浜展 ★

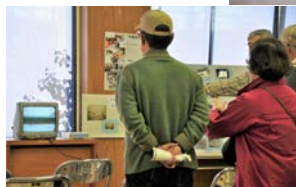
11月2日から9日まで（7日休み）、甲子園浜自然環境センターにおいて、「写真でよみがえる甲子園浜展」を開催いたしました。およそ760名の来場があり、懐かしい写真の数々に見入っておられました。



古い写真が整理散逸廃棄されている状況のなか、昔の甲子園浜の姿を残す写真を多くの方に提供していただき、甲子園浜の変遷を見ることができました。

古くは昭和の初めの浜の写真。初代の浜甲子園阪神パーク、海水浴場、イワシ漁とイリコ作り、阪神電鉄浜甲子園線、2代目阪神パーク、埋立公害反対運動、厚生年金プール、阪神淡路大震災まで200点以上の写真と、古地図、卒業アルバム、阪神パークにいた象とキリンの糞などという変化に富んだ展示物もあり、世代を問わず楽しく、懐かしく、見ていただきました。

会場全景



昭和4年頃の貴重な映像が提供され、真剣に見入っています



今回最も古い写真。漁師が地引網をしている。写っている少女は現在92歳でご健在とのこと。昭和6年頃

一面のイリコ（イワシの煮干し）を天日に干している。奥には煎り屋と呼ばれる作業場。昭和30年代



阪神パーク（昭和25～平成15年）入口にあった不思議な鏡。昭和55年

浜で凧揚げ大会
昭和59年



かつて甲子園浜は、砂浜は広く、海は水平線まで大きく開き、人々は漁をして生活し、泳ぎを楽しみ鍛錬し、子供も大人も海に親しんでいました。そのことを誰もが決して忘れない。失ってしまったものは多いけれど、大切にしなければいけないものが残っています。私たちはいつまでもそのことを伝えていかなくてもはなりません。

写真展に寄せられた感想から

○懐かしい写真が沢山ありました。また古い地図のおかげで甲子園球場が三角州にあったというのがよくわかりました。甲子園浜が地域の人暮らしを支え、心の拠り所となって変わっていく様子もわかり、それを支える地域の人活動のご苦労も感じました。(50代)

○昔なつかしい思い出がすてきでした。時代の流れを感じました。それぞれの時代を一杯皆様が生きている思いを強くしました。(60代)

○12年前に終の住居の思いで浜甲子園へ引越して来ましたが、甲子園の歴史を知りたいと思っていた時に非常に良い機会でした。たいへん参考になりました。(60代)

○甲子園浜が武庫川水系のデルタ地形であったことが判りました。昔の地形を見るのは楽しいですね。シラス干しの写真に圧倒されました。里海だったのですね。(60代)

○甲子園に昭和24年からずっと住んでいます。父母の初めてのデートが鳴尾のイチゴ狩りだったそうです(S10年)。小中学校の時学校から海水浴に通った浜甲子園線、阪神パーク、甲子園駅傍のてるてる公園、懐かしい風景をよく蘇らせてくださいました、ありがとう。(70代)



○きりんのふんがちいさくてびっくりした。(7才)

○小さい頃から泳いで大きくなりました。イヤなことつらいことがあると甲子園浜の海をながめていると、ふしぎと心が落ちついたものです。阪神パークで母も私も働いていました。その頃のことを思い出し、とてもなつかしかったです。(60代)

昭和の甲子園浜を語る会

写真展会期中の5日、語る会をしました。

水着のまま自宅から、また学校から、浜へ泳ぎに行ったこと。そんな思い出から始まって、それぞれが昔の甲子園浜への思いを話しました。

戦前鳴尾から甲子園は、競馬場、テニスコート、プール、ゴルフ場、阪神パークなどがある先進的文化的土地だった。戦時中に甲子園浜一帯が海軍に接收され、「紫電改」が製造されていた。浜の大通りは飛行場への誘導路と呼ばれていた。戦後はアメリカ軍が駐留、キャンプ内にはボウリング場もあり、知人がそこで働いた。水練学校があり、最後に遠泳をやった。町会や子供会で、浜で凧揚げ大会したり、とんど焼きをしたり、あのとんどは本当に大きかった。家1軒分くらい木を燃やしたね。などなど臨場感あふれるお話の数々を聞くことができました。



活動報告

9月25日 海浜清掃 110名、可燃物530kg、不燃物80kg (ヤマサ環境エンジニアリング調べ)

10月19日 国指定浜甲子園鳥獣保護区保全事業検討会

11月2日～9日 写真でよみがえる甲子園浜展

11月6日 伊藤ハム合同クリーンアップ 111名、可燃物180kg、不燃物10kg (ヤマサ環境エンジニアリング調べ)

11月14日 京都市民大学院環境学習

活動予定

平成29年

1月29日(日) 冬の鳥観察会

3月26日(日) 海浜清掃

5月27日(土) 大阪湾生き物一斉調査

6月4日(日) 海浜清掃